

健康やまがた安心プランの進捗状況について

R4.9月現在

分野	目標	評価指標	指標出典	プラン策定時値(H22)	中間見直現状値	直近値	目標値(R5)	令和3年度～4年度上期の主な県の施策	
栄養・食生活	適正体重を維持している者の増加	40歳代男性の肥満者の割合	県民健康・栄養調査	31.0%	38.8% (H28)	38.8% (H28)	28%	<ul style="list-style-type: none"> ○「減塩・ベジアッププロジェクト」の展開 ・減塩や野菜の摂取を呼びかけるキャンペーンの実施 ・テレビや新聞等のメディアを活用した普及啓発 ・減塩・ベジアップ教育の実施 ○食生活改善プログラムによる減塩・ベジアップレシピの普及 ・地域、家庭、一人暮らしの若者等に対する普及啓発 ○健康経営の推進 ・健康経営アドバイザーと連携した健康経営実践支援 ○「やまがた健康づくり大賞」に減塩及びベジアップ推進部門を創設し優良事例の普及 ○保健所による出前講座の実施(学校、企業等の依頼に対応) ○給食施設への給食・栄養管理指導 ○小・中学校、高校へ学校のニーズにあった栄養士を派遣(いのち輝く食育推進事業:スポーツ保健課) ○地域食生活・健康情報ステーション(県HP)による情報発信 ○「やまがた健康ガイド」の発行(R3.9月20万部) ・バランスの良い食事内容の紹介 ・野菜レシピの紹介 ○「やまがた健康フェア2022」の開催(R4.9.23) ・関係団体・企業と連携し、食生活改善を啓発 	
		20歳代女性のやせの者の割合		25.5%	17.4% (H28)	17.4% (H28)	20%		
		学校医により肥満傾向で特に注意を要すると判定された者の割合(小・中学生)	山形県学校保健の現況	2.6% (H23)	2.1% (H28)	2.7% (R3)	1.8%		
	適切な量と質の食事をとる者の増加	野菜摂取量の平均値(20歳以上)	県民健康・栄養調査	320.2g	285.3g (H28)	285.3g (H28)	350g		
		果物摂取量100g未満の者の割合(20歳以上)		54.1%	54.3% (H28)	54.3% (H28)	30%		
		食塩摂取量の平均値(20歳以上)		12.2g	10.3g (H28)	10.3g (H28)	8g		
		牛乳・乳製品摂取量200g未満の者の割合(20歳以上)		78.3%	78.2% (H28)	78.2% (H28)	65%		
		児童・生徒の朝食欠食率	小学6年生	全国学力・学習状況調査	9.9% (H24)	9.0% (H27)	13.7% (R4)		4.5%
中学3年生	12.7% (H24)		12.5% (H27)		16.7% (R4)	6.2%			
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合(20歳以上)	県民健康・栄養調査	69.2%	73.9% (H28)	73.9% (H28)	80%			
	管理栄養士等が栄養管理を行っている給食施設の増加	管理栄養士又は栄養士を配置している特定給食施設の割合	衛生行政報告例	70.5% (H23)	73.4% (H28)	79.3% (R3)	80%		
身体活動・運動	運動習慣者の割合の増加	20～64歳の運動習慣者の割合	男性	県民健康・栄養調査	29.4%	34.8% (H28)	34.8% (H28)	36%	<ul style="list-style-type: none"> ○「やまがた健康ガイド」の発行((R3.9月20万部)(再掲) ・ウォーキングの普及啓発 ・自宅でできる健康づくりの紹介 ○「やまがた健康づくり大賞」による優良事例の普及 ○健康経営の推進 ・特別番組「いま注目！山形版健康経営」の放送(10月) ○「やまがた健康マイレージ事業」の実施 ○地域資源を活用したウォーキングコースの紹介 ○保健所による健康運動指導者研修会の開催 ○住民同士が連携・協力して主体的に運営する「総合型地域スポーツクラブ」の創設・育成支援(スポーツ保健課) ○「やまがた健康フェア2022」の開催(R4.9.23)(再掲) ・関係団体・企業と連携し、運動習慣の定着を啓発 ○「やまがた健康長寿日本一ウォーキング大会」の開催(R4.9.24)
			女性		21.8%	25.7% (H28)	25.7% (H28)	33%	
休養・こころの健康	睡眠を十分とれていない者の割合の減少	睡眠による休養を十分とれていない者の割合(20歳以上)	県民健康・栄養調査	24.8%	26.7% (H28)	26.7% (H28)	15%	<ul style="list-style-type: none"> ○保健所による出前講座の実施(再掲)(学校、企業等の依頼に対応) ○各保健所、精神保健福祉センターにおける電話や対面による心の健康相談を実施 ○民間支援団体が行う相談事業等への補助 ○依存症関連問題支援者向け研修の実施 ○「心のサポーター」の養成 	
	自殺者の減少	自殺者の割合(人口10万対)	人口動態統計	22.8 (H23)	19.9 (H28)	17.0 (R2)	16 (R4)		

分野	目標	評価指標	指標出典	プラン策定時値(H22)	中間見直現状値	直近値	目標値(R5)	令和3年度～4年度上期の主な県の施策		
飲 酒	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(20歳以上)	男性	県民健康・栄養調査	17.6%	18.2% (H28)	18.2% (H28)	13%	<ul style="list-style-type: none"> ○保健所による出前講座の実施(再掲)(学校、企業等の依頼に対応) ○各保健所、精神保健福祉センターにおける電話や対面による心の健康相談を実施(再掲) ○依存症回復のための家族支援 ○妊娠届出時等の機会を活用した妊婦への正しい知識の普及啓発(母子保健推進強化事業:子ども家庭課) 	
			女性		7.3%	8.0% (H28)	8.0% (H28)	6.4%		
	未成年者及び妊娠中の女性の飲酒をなくす	未成年者の飲酒割合	高校3年生男子		4.3%	3.7% (H28)	3.7% (H28)	0%		
			高校3年生女子		2.0%	0% (H28)	0% (H28)	0%		
		妊娠中の女性の飲酒割合	母子保健事業のまとめ	4.2% (H23)	1.2% (H27)	0.4% (R1)	0%			
喫 煙	喫煙率の減少(特に20～30歳代の喫煙率の減少)	成人の喫煙率		県民健康・栄養調査	20.5%	20.2% (H28)	20.2% (H28)	12%	<ul style="list-style-type: none"> ○改正健康増進法及び山形県受動喫煙防止条例の普及啓発(R2.4.1～原則屋内禁煙) ○保健所による出前講座の実施(再掲)(学校、企業等の依頼に対応) ○保健所に禁煙窓口を設置し、禁煙相談の実施 ○禁煙治療実施医療機関を県のホームページで紹介 ○関係機関・団体、飲食店等への個別訪問による受動喫煙防止対策に取り組む施設の拡大 ○「やまがた健康づくり大賞」による優良事例の普及(再掲) ○禁煙標識(ステッカー)を交付し、禁煙標識掲示飲食店(禁煙店)を県のホームページで紹介 ○「やまがた健康フェア2022」の開催(R4.9.23)(再掲) ・関係団体・企業と連携し、受動喫煙防止を啓発 	
			20～30歳代の喫煙率		20歳代男性	40.5%	42.0% (H28)	42.0% (H28)		全国値以下
					20歳代女性	16.8%	10.5% (H28)	10.5% (H28)		全国値以下
					30歳代男性	46.8%	51.9% (H28)	51.9% (H28)		全国値以下
					30歳代女性	19.6%	13.4% (H28)	13.4% (H28)		全国値以下
		未成年者の喫煙率	高校3年生男子		2.1%	4.8% (H28)	4.8% (H28)	0%		
			高校3年生女子		0%	0% (H28)	0% (H28)	0%		
			妊娠中の女性の喫煙率	母子保健事業のまとめ	2.9% (H23)	2.1% (H27)	1.2% (R1)	0%		
	受動喫煙の機会の減少	受動喫煙の機会を有する者の割合	行政機関	県政アンケート	3.6% (H24)	3.6% (H28)	3.6% (H28)	0%		
			医療機関		2.4% (H24)	1.9% (H28)	1.9% (H28)	0%		
			職 場		31.9% (H24)	32.2% (H28)	32.2% (H28)	0%		
			家 庭		17.0% (H24)	12.0% (H28)	12.0% (H28)	3%		
飲食店			39.3% (H24)		34.7% (H28)	34.7% (H28)	15%			
糖 尿 病	糖尿病による合併症の減少	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	日本透析学会資料	94人	120人 (H27)	114人 (R2)	90人	<ul style="list-style-type: none"> ○県主催で糖尿病等対策検討会を開催 ○置賜地域での糖尿病重症化予防モデル事業の実施 ○特定健康診査データよりリストアップした人工透析ハイリスク者への受診勧奨の実施 ○県ホームページでの糖尿病専門外来や糖尿病教室等の情報発信 ○「やまがた健康フェア2022」の開催(R4.9.23)(再掲) ・県医師会と連携し、糖尿病セミナーを実施 		
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	平成20年度と比べたメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	厚生労働省調べ	6.7%の減少	10.91%の減少 (H26)	16.2%の減少 (R1)	25%以上の減少			
	特定健診・特定保健指導の実施率の向上	特定健診の受診率	厚生労働省調べ	50.2%	60.0% (H27)	65.2% (R1)	70%			
特定保健指導の終了率		17.0%		22.6% (H27)	29.2% (R1)	45%				
慢性閉塞性肺疾患	COPDの認知度の向上	COPDの認知度(20歳以上)	県政アンケート	45.4% (H24)	42.6% (H28)	42.6% (H28)	80%	○保健所による出前講座の実施(再掲)		

分野	目標	評価指標	指標出典	プラン策定時値(H22)	中間見直現状値	直近値	目標値(R5)	令和3年度～4年度上期の主な県の施策	
高齢者の健康	高齢者の心身機能の維持向上	運動習慣のある高齢者の割合(65歳以上)	男性	県民健康・栄養調査	50.1%	49.5%(H28)	49.5%(H28)	58%	<ul style="list-style-type: none"> ○「やまがた健康ガイド」の発行(R3.9月20万部)(再掲) ・ウォーキングの普及啓発 ・自宅でできる健康づくりの紹介 ・ふれあい・いきいきサロンの紹介 ○「やまがた健康マイレージ事業」の実施(再掲) ○「通いの場」における介護予防プログラムの実践 ○デジタルを活用した「通いの場」モデル事業の実施 ○置賜保健所作成の「電子レンジらくらく献立集」の普及 ○高齢者の生きがいづくり・生活支援活動人材育成講座の開催 ○老人クラブ活動への助成 ○高齢者の新分野への就労開拓を図るため、シルバー人材センターを支援(雇用対策課) ○「やまがた健康フェア2022」の開催(R4.9.23)(再掲) ・関係団体・企業と連携し、運動習慣の定着を啓発 ○「やまがた健康長寿日本一ウォーキング大会」の開催(R4.9.24)(再掲)
			女性		42.1%	47.2%(H28)	47.2%(H28)	48%	
		栄養バランスを考えて食事をとっている高齢者の割合(65歳以上)	71.8%		77.5%(H28)	77.5%(H28)	80%		
	高齢者の社会参加の向上	地域活動に参加している高齢者の割合(65歳以上)	35.2%		40.3%(H28)	40.3%(H28)	45%		
がん	がんによる死亡者の減少	がんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」	男女計80.6	男女計76.6(H28)	男女計69.9(R2)	男女計67	<p>《がん対策県民運動の実施(●印)》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病院外のがんに関する相談窓口である「がん総合相談支援センター」の設置 ●子宮頸がん及び乳がん検診の休日検診機会の拡大 ●がん教育を受けた子供から家族にがん検診受診を促すメッセージ事業の実施 ●若い頃からがん予防に対する関心を高めるため、健康教室による正しい知識やがん予防の普及啓発 ●医療用ウィッグ乳房補整具購入費への助成 ○がん検診の事業評価及び精度管理の推進のための外部有識者を交えた協議会等の開催 ○がん登録の実施(がんの罹患や転帰の状況を登録、集計、分析する「がん登録」を実施し、罹患率や生存率などがん対策を進める上で必要より正確ながんの実態を把握) ○「やまがた健康マイレージ事業」の実施(再掲) ○「やまがた健康ガイド」の発行(R3.9月20万部)(再掲) ・がん検診の受診勧奨 ・生活習慣病予防の啓発 ○がん検診の普及啓発 ・特別番組「いま注目！山形版健康経営」の放送(10月) ○がんの発症や生活習慣病の予防に必要となる生活習慣の改善要素に関する調査・研究 ○「やまがた健康フェア2022」の開催(R4.9.23)(再掲) ・関係団体・企業と連携し、がん検診受診を啓発 	
	がん検診の受診率の向上	がん検診の受診率	胃がん	国民生活基礎調査	47.0%	57.0%(H28)	56.1%(R1)		60%
			肺がん		35.5%	60.6%(H28)	62.2%(R1)		60%
			大腸がん		36.3%	53.6%(H28)	56.0%(R1)		60%
			子宮がん		42.1%	46.3%(H28)	46.5%(R1)		60%
			乳がん		40.8%	46.8%(H28)	47.3%(R1)		60%
		がん検診の精密検査受診率	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	76.0～88.4%(H23)	80.7～89.7%(H27)	76.3～89.9%(R2)	100%		
	がんの予防対策の推進	肝炎治療費助成受給者数(累計)	県新型コロナウイルスワクチン接種総合企画課調べ	—	3,085人(H28)	3,943人(R3)	3,600人		
	がん医療提供体制の充実	がん医療提供体制の充実	がん医療提供体制の充実	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	914件(H23)	1,125件(H28)	1,754件(R3)		増加
		全部位別初回治療に占める放射線治療の割合	山形県がん実態調査	9.8%(H20)	9.3%(H26)	7.5%(H30)	15%		
	がん医療に携わる専門医療従事者の増加	がん医療に携わる専門医療従事者の増加	放射線治療専門医の配置割合(拠点・指定病院)	がん診療連携拠点・指定病院現況報告書	3/7病院(H24)	4/7病院(H28)	4/7病院(R3)		100%
放射線治療専門放射線技師の配置割合(拠点・指定病院)			5/7病院(H24)		6/7病院(H28)	6/7病院(R3)	100%		
日本医療薬学会認定のがん専門薬剤師の配置割合(拠点・指定病院)			1/7病院(H24)		5/7病院(H28)	5/7病院(R3)	100%		
緩和ケア提供体制の充実	緩和ケア提供体制の充実	緩和ケア研修修了医師数の累計	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	122医療機関454名(H23)	196医療機関1139名	215医療機関1,673名(R3)	1,750名		
		緩和薬物療法認定薬剤師の配置割合(拠点・指定病院)		4/7病院(H24)	2/7病院(H29)	5/7病院(R3)	100%		

分野	目標	評価指標	指標出典	プラン策定時値(H22)	中間見直現状値	直近値	目標値(R5)	令和3年度～4年度上期の主な県の施策	
がん	がん地域連携パスの運用件数の増加	がん地域連携パスの年度末時点の運用件数(累計)	山形県がん診療連携協議会調べ	—	1,050件(H28)	1,924件(R3)	2,000件		
	がん相談窓口の認知度の向上	がん相談窓口における相談受理事件数	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	2,255件(H23)	3,908件(H27)	6,179件(R2)	7,400件		
	がん登録の精度の向上	がん登録集計罹患数に対する病院等からの届出率	山形県がん実態調査	81.5%(H20)	88.7%(H25)	98.5%(H30)	90%以上		
	がん罹患を理由に失職する勤労者の減少	がん罹患を理由に失職する勤労者の割合	がん患者の就労支援・社会復帰に関する調査	25%(H23)	25%(H23)	25%(H23)	減少させる		
循環器病	循環器病による死亡者の減少	脳血管疾患による年齢調整死亡率(人口10万対)	男性	人口動態統計	55.8	43.8%(H27)	43.8(H27)	41.6	<ul style="list-style-type: none"> ○保健所による出前講座の実施(再掲)(学校、企業等の依頼に対応) ○各保険者、検診機関の担当者を対象にした特定保健指導従事者研修会の開催 ○「減塩・ベジアッププロジェクト」の展開(再掲) ○「やまがた健康ガイド」の発行(R3.9月20万部)(再掲) ・生活習慣病の予防 ・特定健診・特定保健指導の受診勧奨 ○健康経営の推進(再掲) ・健康経営アドバイザーと連携した健康経営実践支援 ○山形県循環器病対策推進計画の策定(1月)
			女性		31.7	27.4%(H27)	27.4(H27)	24.7	
		虚血性心疾患による年齢調整死亡率(人口10万対)	男性		33.1	34.5%(H27)	34.5(H27)	31.8	
			女性		15.4	11.1%(H27)	11.1(H27)	13.7	
	循環器病の予防	平成20年度と比べたメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率		厚生労働省調べ	6.7%の減少	20.12%の減少(H27)	16.2%の減少(R1)	25%以上の減少	
		特定健診の受診率		厚生労働省調べ	50.2%	60.0%(H27)	65.2%(R1)	70%	
		特定保健指導の終了率			17.0%	22.6%(H27)	29.2%(R1)	45%	
	救急搬送体制の整備	脳梗塞発症後4.5時間以内来院者数の割合		山形県対脳卒中治療研究会報告	—	—	30%(H27)	40%	
		心筋梗塞患者に占める病院到着前死亡者の割合			—	—	46.3%(H27)	40%	
	地域包括ケアシステムの構築	自立支援型地域ケア会議の開催回数		県高齢者支援課調べ	—	—	327回(R3)	400回	
介護職員数		—	—		20,912人(R2)	22,372人			
歯・口腔の健康	歯の喪失防止と口腔機能の維持	8020達成者の割合		県民健康・栄養調査	37.0%	48.5%(H28)	48.5%(H28)	55%	
		歯間部清掃用具を使用している人の割合(18歳以上)			43.0%	52.8%(H28)	52.8%(H28)	65%	
		60歳代における咀嚼良好者の割合			74.3%	74.0%(H28)	74.0%(H28)	80%	
	乳幼児・学齢期のむし歯のない者の増加	むし歯のない3歳児の割合		母子保健事業のまとめ	70.2%	79.8%(H27)	87.9%(R2)	90%	
		12歳児の一人平均むし歯本数		学校保健統計	1.1本	0.7本(H28)	0.6本(R2)	0.5本	
	過去1年間に歯科健診を受診した者の増加	過去1年間に歯科健診を受診した者の割合(18歳以上)		県民健康・栄養調査	44.6%	—	44.6%(H22)	65%	
		かかりつけ歯科医を持つ者の割合(20歳以上)		県政アンケート	67.9%(H23)	80.2%(H28)	80.2%(H28)	80%	